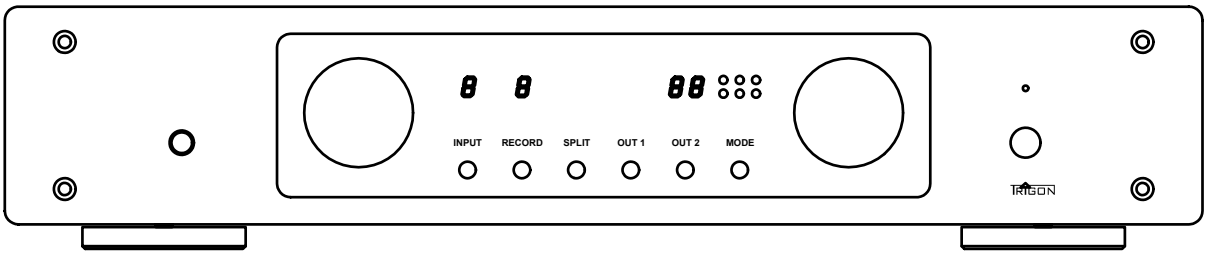
OPERATING INSTRUCTIONS

FOR PRE AMPLIFIER

TRV-100



製品概要

TRV-100は、8系統の(ラインレベル)入力と2系統の出力（独立してオン/オフ可能）を備えた、ハイクオリティ・ラインレベル・プリアンプです。

入力8系統のうち2系統と出力の1系統はバランス方式です。テープ入出力も2系統用意されており、INPUT7と8およびレコード出力の2系統がそれに該当します。また低電圧信号出力（DC10V、オン/オフ可能）が2系統用意され、DCリモート・コントロール信号により弊社モノラルパワーアンプTRE-50の電源のスイッチを制御することが可能です。本体前面にはハイ・インピーダンス・ヘッドフォン用6.3φジャックが、また背面にはサラウンドプロセッサーやグラフィックイコライザーなど特殊なコンポーネントを接続するための入出力端子が用意されています。

TRV-100はマイクロプロセッサーにより完全に制御され、アナログ回路とデジタル回路はそれぞれ最適に動作するようにレイアウトされています。
ボリュームは電子制御されており、従来方式のものに比べて音質およびテクノロジーのいずれの観点からも大変優れたものです。

プリアンプの操作はアンプ本体でも、付属のリモコンでも行え、そのときどきの情報は前面のディスプレイに見やすく表示されます。
また、このプリアンプには５つのMODEメニューがあり、ディスプレイの輝度が調節可能な設計をしているほか、任意のソースをレコード出力として自由に選択することができるなど、フレキシビリティーにも優れています。

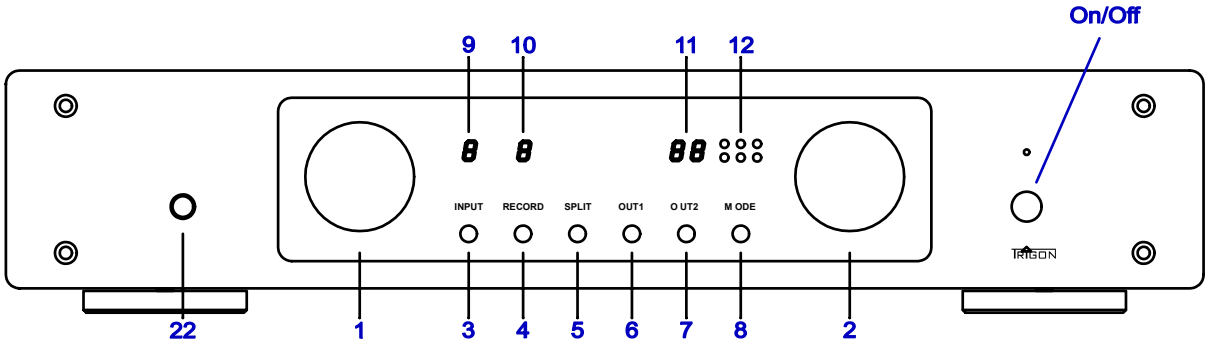
個々の増幅段はモジュール化されているため、モジュールを差し替えることによりバージョンアップが可能です。

内蔵のトロイダルトランスは磁束漏洩が極めて少なくハムの発生しない"スーパーサイレント素材"を使用しており、電源状況の良くない環境でも良好に動作します。
入念に設計された電源部は４つの主要モジュールから構成されており、また増幅段への電源供給には特殊な接続法が用いられ、高周波領域の低インピーダンス化を実現しています。それにより高音域の歪みが最小限に抑えられ、従来の接続法に比べて滑らかな音質となっています。

注意！

このアンプにはACメインズが1本付属されています。
このACメインズはTRIGONのプリアンプ**TRE-100専用**のものです。
決して他の機器のACメインズとして使用しないでください。

1 本体前面の操作



1. セレクターノブ
INPUTボタン（ボタン3）を押すとこのノブはインプット・セレクターとして機能し（INPUTインジケーターの輝度が増します)、聴きたいソースを選択することができるようになります。また、RECORDボタン（ボタン4）を押すとレコード・セレクターとして機能し（RECORDインジケーターの輝度が増します）、TAPE OUTPUT端子に出力するコンポーネントを選択することができます。それにより、当該端子に接続した各種レコーダーにオーディオ信号が出力されます。

2. ボリュームノブ
再生音のボリュームを100ステップ(00～99)で調節することができます。現在のボリューム値はデジタル・インジケーター（11）に表示されます。
当ノブはデジタル・エンコーダーであり、時計方向で音量増、反時計方向で音量を減じます。

3. INPUTボタン
このボタンを押すことにより、入力端子を切り替えることが可能になります。
(INPUTインジケーターの輝度が増します)選択されているラインはインジケーター9に表示されます。

4. RECORDボタン
このボタンを押すと、テープデッキなど録音可能なコンポーネントに出力されるソースを、セレクターノブで切り替えることが可能になります。（RECORDインジケーターの輝度が増します）選択されているソースはインジケーター10に表示されます。

5. SPLITボタン
このボタンを押すことにより、SPLIT端子に接続されたコンポーネント（各種イコライザーやサラウンドプロセッサーなど）をシグナルパスに挿入することが出来ます。(4.8節も参照のこと)

6. OUT1ボタン
このボタンによりOUTPUT1をオン/オフします。

7. OUT2ボタン
このボタンによりOUTPUT2をオン/オフします。

8. MODEボタン
このボタンを押すとMODEメニューが起動し、それを知らせるインジケーターが点灯します。このMODEインジケーターは、MODEメニューが起動している間点灯し続けます。ボタンを短く押すと個々のメニューのトップ項目に移動し、長めに押すことにより現在の選択内容が保存されます。設定が保存される間MODEインジケーターは消灯しますが、保存が完了すると再度点灯し、操作を続行することが可能になります。MODEメニューの詳細に付きましては、5章をご覧下さい。

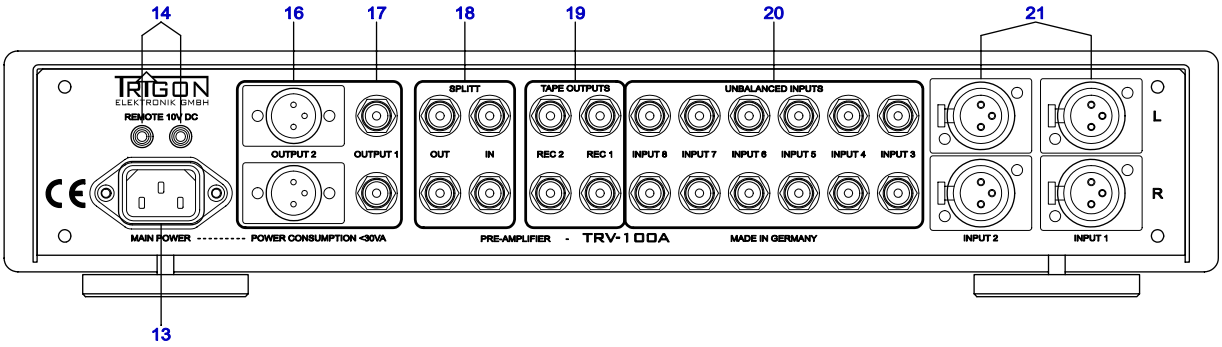
9. INPUTインジケーター
現在選択されているソースが表示されます。

10. RECORDインジケーター
TAPE OUTPUT端子に出力されるソースが表示されます。

11. ボリューム・インジケーター
現在のボリューム値が表示されます。MODEメニュー起動時には、それぞれのメニューに応じた値が表示されます。詳しくは、5章をご覧下さい。

12. マルチ・ファンクション・インジケーターLED
この6連のLEDには、MODEメニュー起動時に付加的な情報が表示されます。詳しくは5章をご覧下さい。
上段中央のLEDは、リモート・コントロール・ユニットによりMONOモードにセットされた場合に点灯します。

2 本体背面の端子



13. 電源ソケット
電源ケーブルを接続します。

14. DC 10Vリモート・コントロール信号出力
このソケットにTRE-50をつなぐとDC 10Vの制御信号でTRE-50のスイッチのオン/オフをコントロールすることが可能になります。
（コントロール信号を送るためのケーブルが別途必要です）

15. TR-LINK
現在未対応

16. OUTPUT2
バランス方式のプリ出力です。パワーアンプやアクティブスピーカーを接続します。
Pin1：グラウンド
Pin2：ホット
Pin3：コールド

17. OUTPUT1
アンバランス方式のプリ出力です。アンバランス入力端子を持つパワーアンプやアクティブスピーカーを接続します。

18. SPLIT
グラフィックイコライザーやサラウンドプロセッサーなどの特殊なコンポーネントをこの入出力端子に接続することにより、シグナルパスに挿入することが出来ます。サラウンドプロセッサーのようにそれ自体がボリューム・コントロールを有しているコンポーネントを使用する場合には、4.8節を参照してください。

19. TAPE OUTPUTS
この端子には、RECORDセレクターで選択したソースの信号が出力されます。それぞれのRECORD出力に対応する入力端子は、INPUT 7（REC-1）とINPUT 8（REC-2）です。

20. アンバランス入力
INPUT 3～INPUT 8のアンバランス入力端子には、チューナーやCDプレーヤー、テープデッキなどのラインレベル出力を備えたコンポーネントを接続します。
アナログ・レコード・プレーヤーを直接接続することはできません。フォノイコライザーが必要になります。

21. バランス入力
INPUT 1およびINPUT 2のバランス入力端子には、バランス出力を装備したコンポーネントを接続します。

22. ヘッドフォン端子
ヘッドフォンを接続します。最低インピーダンスが200Ωを下回るヘッドフォンは接続しないでください。

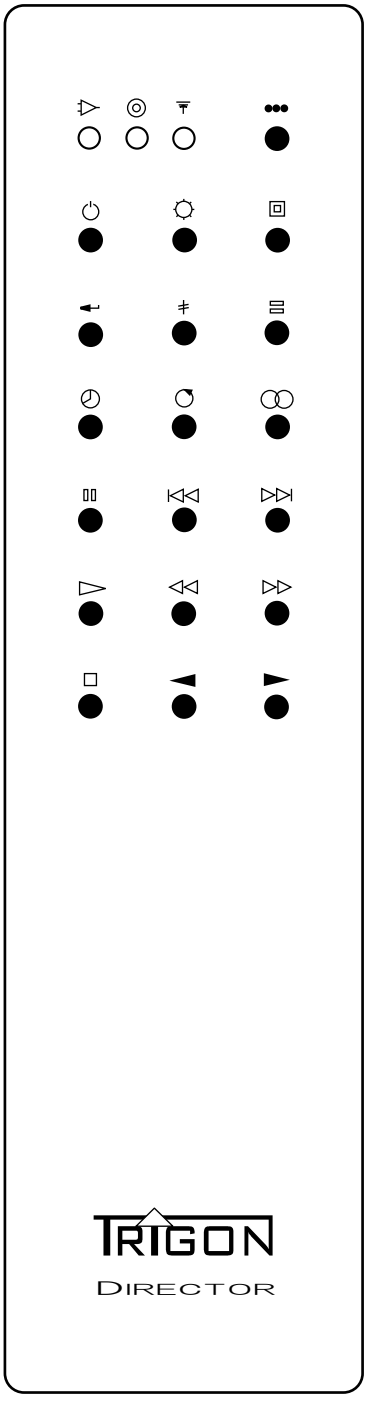
3 多機能リモコン「DIRECTOR」

このリモコン1台で3種類のオーディオ機器の操作が可能です。
本製品は、下記のTRIGONのHiFiコンポーネントでお使いいただけます。

TRV-100　　プリアンプ
Snow White　プリアンプ
TR-CD1　　CDプレーヤー

*本製品は、今後FMチューナーにも対応予定です。

TRV-100とTR-CD1のIRコードは、これらのデバイスの特殊コードに変換後伝送され、Snow White（プリアンプ）のIRコードとFMチューナーはRC-5フォーマットに変換後伝送されます。
この技術を採用することで、TRIGON社の新製品のHiFiコンポーネントに対しても、簡単にリモコンを更新することが可能となります。



基本設定

A. ●●● を押してデバイスを選択します。スイッチを1回押すごとに、下記マーク下の赤色LEDが点滅します。

▷　⇒アンプ

◎　⇒CDプレーヤー

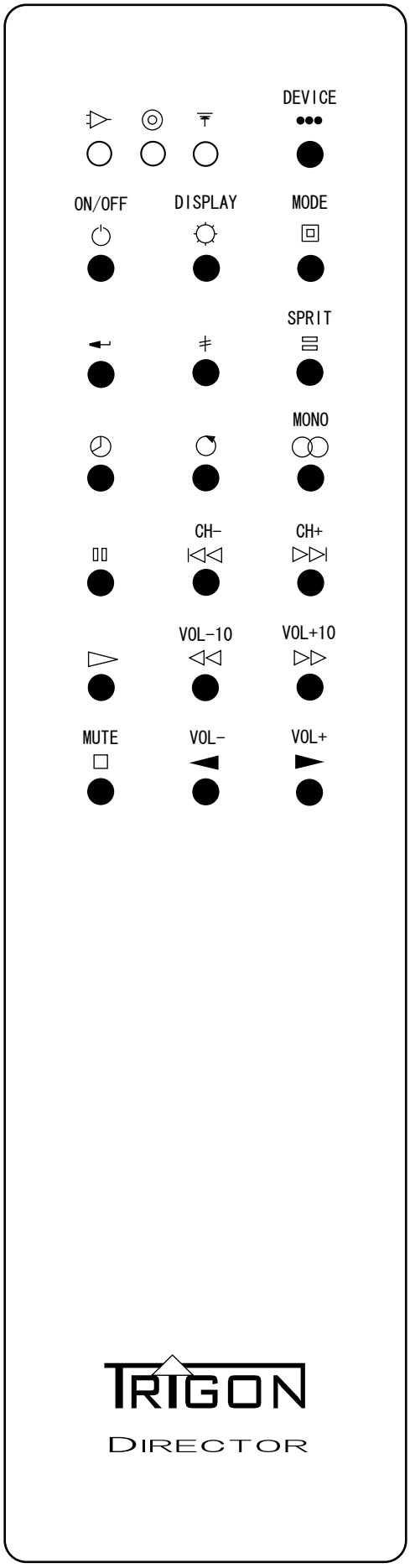
⊤　⇒FMチューナー

B. その他全てのスイッチは、上記Aにて指定されたお使いのデバイスによって変ります。

C. ⏻ 回 を同時に3秒間押すと、TRV-100とSnow Whiteの切り替えが行えます。

E. Dが正常に行われると全てのLED信号が点滅します。2回点滅で、本製品はTRV-100用の設定に、5回点滅でSnow White用の設定が完了します。

F. 電池を交換した時はTRV-100がデフォルト設定となります。



TRV-100 専用機能説明

DEVICE：	3種類のデバイスを選択します
ON/OFF：	デバイス本体の電源をON/OFFします
DISPLAY：	フロントディスプレイをON/OFFします
MODE：	MODEメニューを起動します
SPRIT：	SPRIT端子に接続した装置を有効にします
MONO：	モノラル再生モードとステレオ再生モードを切り替えます
CH-：	入力を切り替えます
CH+：	入力を切り替えます
VOL-10：	音量を10づつ下げます
VOL+10：	音量を10づつ上げます
MUTE：	音量をゼロ（０）にします（再度押すと元の音量に戻ります）
VOL－：	音量を1ずつ下げます
VOL＋：	音量を1ずつ上げます

乾電池について

付属の単4乾電池を2本お使いください

電池の交換を行う際には本体裏面のカバーを開けてください（開閉には付属の六角レンチをお使いください）

乾電池は、液漏れを防ぐためにも必ず新しい乾電池をお使いください。また、時折、乾電池の状態をご確認いただく事をお勧め致します。

4 接続例

4.1 接続可能なコンポーネント

TRV-100はラインレベル専用のプリアンプであり、チューナー、CDプレーヤー、テープデッキ、カセットプレーヤー、HiFiビデオデッキなどアナログ信号を出力するコンポーネントを接続することができます。グラフィックイコライザーやトーン・コントロール・アンプ、サラウンドプロセッサーなどの各種エフェクト機器は、SPLIT端子に接続します。

!:マイクロフォンやアナログ・オーディオ・プレーヤーを直接接続することはできません。

4.2 入力端子

TRV-100には8系統の入力が用意されており、INPUT 1および2はバランス入力です。
バランス入力のピンアサインは、PIN1=GND、PIN2=HOT、PIN3=COLDです。
SPLIT入力端子にもコンポーネントを接続することができますが、ここに接続された入力はTAPE OUTPUTSには出力されないことにご注意下さい。

4.3 録音可能なコンポーネントの接続

TRV-100には2系統のレコード出力（19）が装備されているので、カセットデッキのレコード入力や、DATやMDレコーダーのアナログ入力に接続します。

4.4 録音可能なコンポーネント間の録音

接続した録音機器間でダビングを行うには、コンポーネントAの出力をINPUT7に、コンポーネントBの出力をINPUT 8にそれぞれ接続します。また、TAPE OUTPUT 1をコンポーネントAの入力に、TAPE OUTPUT 2をコンポーネントBの入力にそれぞれ接続します。以上の接続でコンポーネントAの出力をBで録音するには、RECORD入力をINPUT 7にセットします。RECORDボタンを押してからセレクターつまみを回しINPUT 7を選択すると、録音可能な状態になります。

4.5 出力ジャック

TRV-100は、2系統のプリ出力をそれぞれ独立にオン/オフすることが可能です。
OUTPUT 1はアンバランス出力、また、OUTPUT 2はバランス出力で、通常はパワーアンプやアクティブ・スピーカーに接続します。

バランス出力は、プリアンプとパワーアンプを長いケーブルで接続する必要がある場合に適しています。バランスケーブルには、接続ケーブルに対する外来ノイズを効果的に抑制できるという利点があります。
バランス出力のピンアサインは、PIN1=GND、PIN2=HOT、PIN3=COLDです。

4.6 REMOTEジャック

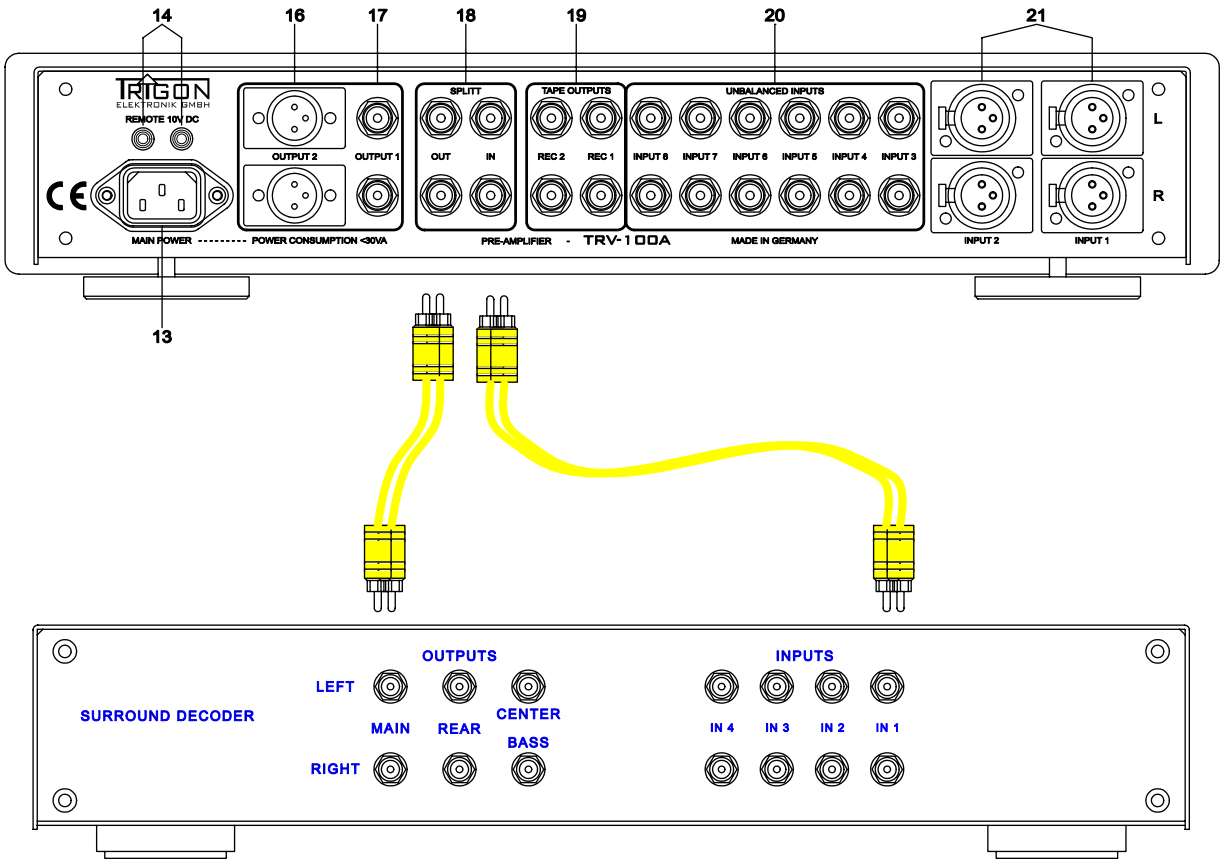
TRE-50は、DC信号によりリモートで電源を投入することが可能です。TRIGON社のプリアンプTRV-100にはREMOTEジャックが2系統用意されており、TRV-100の電源がオンになるとDC信号が流れTRE-50の主電源が入ります。DC信号は、MODEメニューの設定によりオフにすることが可能です。（この操作に必要なケーブルが別途必要になります）

4.7 イコライザーの接続

グラフィックイコライザーなどをシグナルパスに挿入するために、TRV-100にはSPLIT端子（18）が一組（４口）用意されています。

イコライザーの出力をINPUT端子に、また、イコライザーへの入力をOUTPUT端子に接続します。

以上の通り接続することでイコライザーを使用する準備ができました。TRV-100本体あるいはリモート・コントロール・ユニットのSPLITボタンを押すだけで、シグナルパスに挿入されます。



サラウンド機能の調整のステップを以下に示します

註：ビデオデッキはTRV-100のINPUT 5に、また、サラウンドプロセッサーは前述の通り接続されているものとします。

ステップ1：TRV-100のSPLIT機能をオンにします
ステップ2：TRV-100のボリューム値を73にセットします
ステップ3：TRV-100のINPUT 5を選択します
ステップ4：サラウンドプロセッサーの入力をInput 1に設定します
ステップ5：サラウンドプロセッサーの説明書に従ってサラウンド・システムの調整を行います
ステップ6：ビデオデッキの再生を開始します

5 ファンクション・モード

MODEボタンを押すことにより以下のファンクション機能が利用可能です

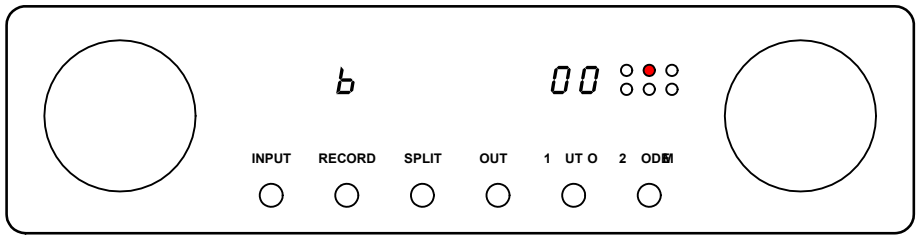
・ステレオバランスの調整
・インジケーターの輝度調整
・個々の入力のレベル調整
・基本ボリュームレベルの設定
・工場出荷時の状態への復帰

MODEボタンを押すとファンクションモードに入り、MODEインジケーターが点灯します。MODEボタンを押すたびに次の設定メニューに移行し、ボタンが6回押されるとMODEメニューは終了します。また、設定を保存したい場合には、MODEボタンを押し続けます。するとMODEインジケーターは少しの間消灯し、再度点灯します。この時点で設定は保存され、次回設定を上書きするまでその状態が保たれます。

調整可能な項目を次項以降で説明します。

5.1 ステレオバランスの調整

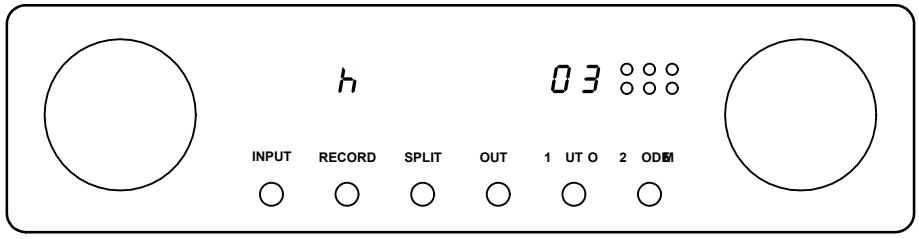
MODEボタンを1回押すとバランス調整モードに入り、前面のパネルは以下のような表示になります。また、MODEインジケーターと上段中央のLEDが点灯します。



ボリュームつまみを左右に回すとステレオバランスを調整することができます。
つまみを回す方向により、それぞれの方向に対応したLEDが点灯しバランスが変化している方向を示します。
ボリューム・インジケーターにはレベル差がdB単位で表示されます。
調整可能なレベル差は最大100dBです。適正な状態にバランスを調整したら、前述の方法でその状態を保存します。MODEボタンをもう一回押すと、次のメニューに移ります。もし、それ以上調整を行わないのであれば、約10秒間操作を行わないでいるとMODEメニューは自動的に終了し、MODEインジケーターとLEDが消灯します。また、ボリューム・インジケーターには現在のボリューム値が表示されます。

5.2 インジケーターの輝度の調整

前面パネルのインジケーターの輝度は三段階に調整することが可能です。
MODEボタンを二回押すと、RECORD表示の上部のインジケーターに"h"というシンボルが表示され、調整が行える状態になります。

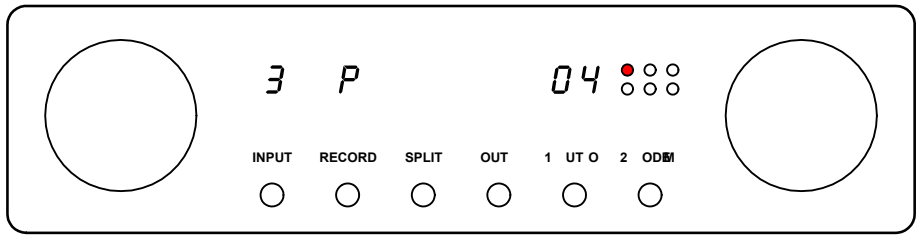


ボリュームつまみを回すと輝度が変化し、現在のステップがインジケーターに表示されます。好みの輝度に調整できたら、前述の方法でその状態を保存します。MODEボタンをもう一回押すと、次のメニューに移ります。もし、それ以上調整を行わないのであれば、約10秒間操作を行わないでいるとMODEメニューは自動的に終了し、MODEインジケーターとLEDが消灯します。また、ボリューム・インジケーターには現在のボリューム値が表示されます。

5.3 入力レベルの調整

TRV-100に異なる出力レベルのコンポーネントが接続されていると、入力を切り替えたときに音量差が生じます。TRV-100には、個々の入力ごとに入力感度を調節する機能が備わっており、三番目のメニューで設定が可能です。セレクターつまみを使用してレベル調整を行いたい入力を選択し、ボリュームつまみでレベルの調整を行います。つまみを右に回すとレベルは大きくなり、左に回せば小さくなります。このときボリュームインジケーターには補正値が表示され、それと同時に、入力レベルを増大させた場合には上段左のLEDが、また、減少させた場合には下段左のLEDが点灯します。

適正な入力レベルに調整後、MODEボタンを数秒押して(MODEインジケーターが再度点灯するまで)設定を保存します。
入力レベル調整をさらに続けたい場合は、セレクターつまみを回して次の入力を選択し、以上の操作を行います。
入力レベルは±6dBの範囲を0.5dBステップで行うことができ、ボリューム・インジケーターには増加・減少の両方向に対して0～12の範囲で表示されます。
調整を終了したい場合、10秒間操作を行わないでいると当該メニューは自動的に終了します。

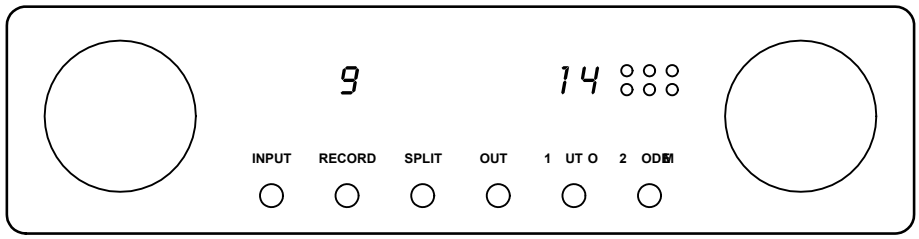


例）入力レベルの調整：INPUT 3に対して"4"ステップ分レベル増加

5.4 基本ボリュームレベルの設定

TRV-100には電子制御方式のボリュームが装備されています。この方式は従来のものに比べて音質的に有利なだけでなく、機能面でも大変便利です。その一例として、ボリュームレベルのプリセットが挙げられます。
これはプリアンプの電源が入ったときに自動的にセットされるボリュームの値です。この設定を行うには、MODEメニューの四番目の項目を設定します。（RECORDインジケーターLEDに”９”と表示が出ます）

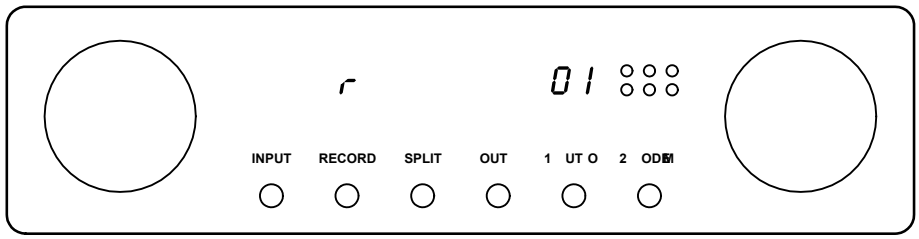
ボリュームつまみを回すとボリュームレベルが変化しますので、レベルの調整を行った後にMODEボタンを数秒間（MODEインジケーターが再度点灯するまで）押し続けて設定を保存します。
調整を終了したい場合、10秒間操作を行わないでいると当該メニューは自動的に終了します。



5.5 DCリモート信号のオン/オフ

TRV-100には、DC10Vのリモートコントロール信号を出力する機能が備わっており、トライゴン社製モノラルパワーアンプTRE-50に接続すると電源をプリアンプと同時にオンすることができます。（この接続に必要なケーブルは付属しておりません）

ときには、このリモート信号をオフにできたほうが都合良いことがあります。
例えば、ヘッドフォンを使用するのでパワーアンプの電源をオンにする必要のない場合などです。
リモート信号のオン/オフ設定は、MODEメニューの五番目の項目で行います。



ボリュームつまみを回すと、ボリューム・インジケーターに00あるいは01と表示されます。この場合、00はリモート信号のオフを、01はオンを示します。設定を保存するには、MODEボタンを数秒間（MODEインジケーターが再度点灯するまで）押し続けてます。MODEメニューを終了したい場合は、MODEボタンをもう一度押すか、MODEメニューが自動的に終了するまで数秒間そのまま待ちます。

5.6 工場出荷時(初期)設定への戻し方

TRV-100には設定を工場出荷時の状態に戻す機能があります。
MODEメニューで行った設定に満足いかず工場出荷時(初期)の状態に戻したい場合は、MODEボタンを数秒押してください。このとき、MODEメニューが起動していない(MODEインジケーターが点灯していない)ことを確認してください。MODEボタンを数秒押し続けるとMODEインジケーターが一度消え再点灯し、設定が工場出荷時に戻ります。
この作業をするとバランスや前面パネルの輝度、基本ボリュームレベルなどのすべての設定が工場出荷時(初期)に戻ってしまいますのでご注意下さい。

輸入総代理店
有限会社　フューレンコーディネート
オーディオ事業部

フリーダイヤル
０１２０－００４８８４